



繪本豐臣勲功記

四編
七

遠13
2209
37



13
2209
37

繪本豊臣勲功記四編卷之七

目録

信長昇殿被任右大将

属安土築城

秀吉強諫令二條築城堡

属羽柴明察

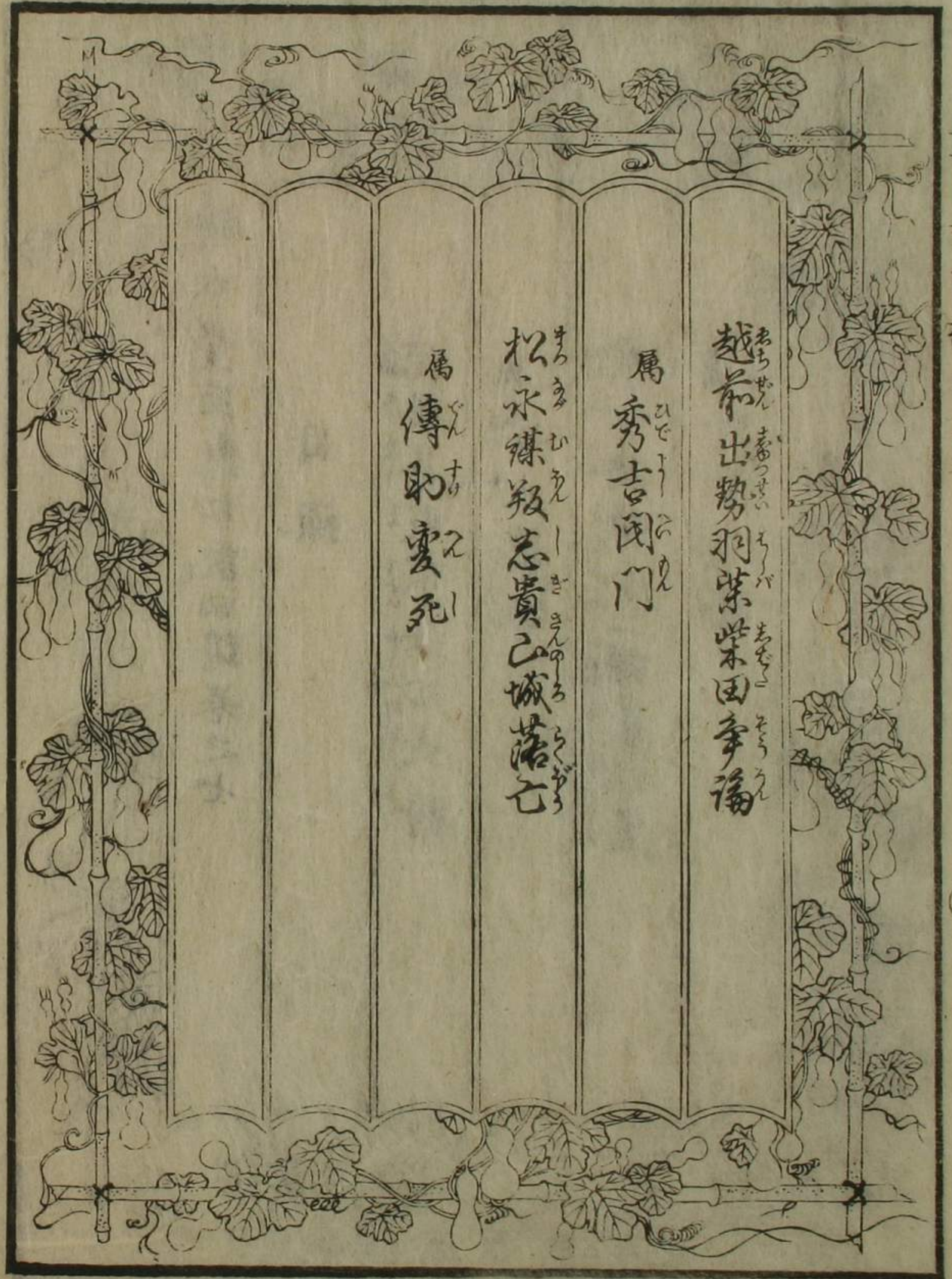
繪本豊臣勲功記四編卷之七

越前出勢羽柴田幸福

属秀吉内門

松永謀叛志貴山城落亡

属傳助要死



繪本豊長勲功記四編卷之七

櫻澤堂山編輯

信安昇殿被任右大将馬安去築城

後漢の光武宣く賈復八千里の威ありと漢去ハそれを大武とよぶ

との今遠織田小比校一ぬきバ又稱する小足さる一然わど信長

ハ秋然として波草城一軍を帰させむひ同年十月上の十日又波上

活ありせらま去ぬる天正元年義昭公二条の城を退去の後信長大

下の政道派執行すくおろなるゆゑ威勢天地をも刀尺をづくこれの

をきて禁中も殊々信長を重んぜらる諸卿方ハ猶更に尊敬する

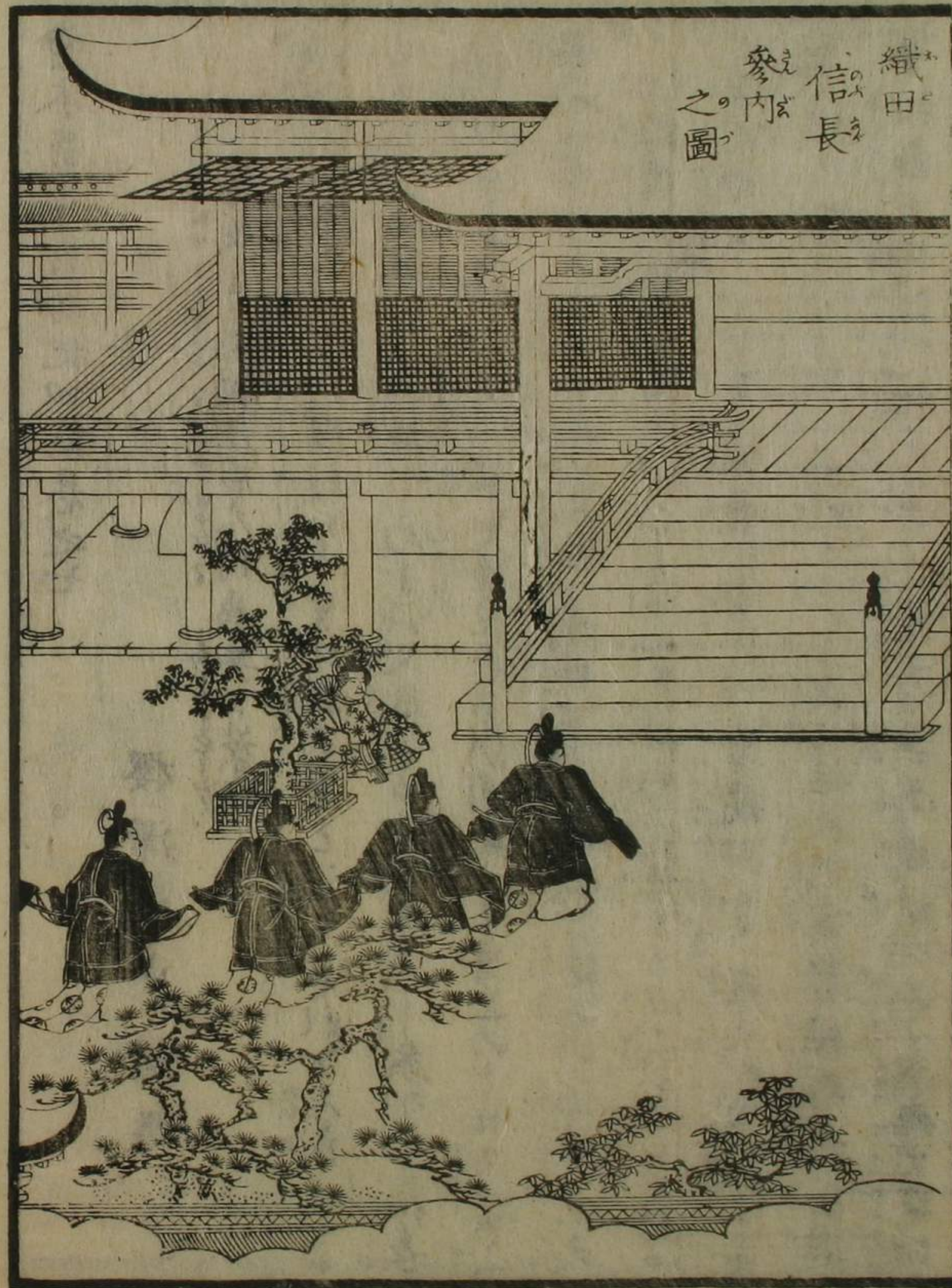
事神の如く遠遭上活あるふつ三條大納言實條河本を瀨

宰相親氏卿河内柏原まで所通ある其外隣國の大小名瀬田遠坂





陣の座と謂は將軍宣下
 ある所の整裝束の廳を
 紫雲殿の西六間の軒
 廊を過るに在る陣
 の座より一間五尺五寸四方
 あるといふ宣陽殿の南は
 孔雀の廳を西の構の



織田
 信長
 參内
 之圖

豊中詰四條見立之

山料の巻まで車馬と運送し、出迎をせ、較度の勝軍攻めしむるを。
 濃く然りとて入京あり加之所在京中。羽州米澤の城立、保連入膳を夫
 輝宗、飛騨の國司、姉小路中納言頼綱、入道して、攝州より、別所小三郎
 長治、大志山城を賀相、併登て幕下小属一借小天下静禮の功を
 初めんと、傾心するも、理ゆんぬ、然るも、所内の勅諭とて、頼朝卿の例
 と違われ、信長をもく、権大納言の右大將小任、らまんと、其、所、準、信
 とく陣の産と、所、造、當、ある、十一月十四日、昇殿を許され、天蓋を
 賜り、十七日、拜賀の儀式と、行、る、も、小首尾、殿、ある、成、見、く、曰、海、界、平
 と、冠、さ、公、公、この大將軍、ある、と、上、下、奉、て、至、張、せ、る、是、子、依、く、織、田
 信長、若、我、今、も、ある、まで、例、抄、さ、武、威、権、勢、を、れ、が、別、も、輝、さん、と
 河、州、安、土、の、山、面、小、一、座、の、大、城、と、結、構、せ、る、是、や、曰、海、を、平、の、公、壽、策

と、並、せて、帝、都、を、護、の、勤、め、お、け、歳、の、冬、より、其、地、を、撰、する、是、舊、城、攻、
 卓、も、つ、く、嫡、子、信、忠、不、讓、らん、が、為、の、思、起、あり、既、小、三、年、の、年、に、着、て、
 新、未、ハ、天、正、四、年、丙、子、の、華、月、に、南、蒲、生、形、國、の、林、お、安、土、山、こ、近、國、之、惟、
 の、勝、地、を、く、當、地、小、居、城、を、築、ん、と、惟、任、を、命、を、授、け、長、房、を、奉、行、し、ら
 せ、し、也、正、月、十、日、辰、も、つ、く、折、所、し、卯、酒、の、醜、を、責、て、急、げ、れ、る、亦、も、此、安
 土、山、と、稱、さ、る、る、孝、碑、所、と、て、山、心、塔、所、なり、風、氣、恰、も、奇、絶、不
 し、く、要、産、も、す、く、可、なり、日、向、守、光、秀、ハ、城、地、を、選、ぶ、の、妙、と、云
 たま、す、也、光、秀、城、め、く、量、索、を、さ、し、む、茲、子、於、く、惟、任、日、向、守、之、
 秀、叔、て、天、守、法、尊、之、し、り、層、く、七、重、あり、て、刀、利、天、の、音、樂、を、
 聞、ゆる、ろ、と、疑、え、れ、南、北、大、間、二、重、の、石、磔、齋、さ、こ、し、七、丈、二、尺、遠、近
 の、世、小、未、曾、有、の、壯、觀、と、こ、を、知、ら、せ、し、れ、也、光、秀、安、土、山、の、地、理、を、相、て、名、城、の、
 地、り、富、貴、を、武、將、の、所、處、を、成、と、

合二卷ハ和
 別巻首山
 加取水久
 秀々三三末
 の天守城
 且初と云
 と云フ



明智光秀
安土の城に
圖を作す





信長
 京都の
 守護
 江州
 安土の
 大城を
 築く

豊臣巴四編卷下

四



豊臣巴四編卷下

三

もつて城廓を権勢を以て要事とす東山の事なりは殆ど下も
居るもの志言ふあり是後身の致運を萌する者なりと云ふは
あつてつる

長秀力て監獄一けり二月央の玉天子の経管全く成就一けり

二月廿三日とも川へ河搬居あらせらる長秀と厚く河賞ある

備又山下の梯地ふ近長の人と成位せむんと進み結構成就をこ

しむ此小宮む天守の号成恭總観と呼稱へく後小徳見院のその攝法
是も此攝物

のいよやうなる緯内外上下まよぶく金銀珠玉あらぬか一四色

親境を頼み親バ西より北へ琵琶の江湖渺々として碧光深くこれ小

螺出竹生湯ハ天然妙絶の勝系やして一過の腫を落れば比良峯

への瓊珠洗ひ如意嶽小翠錦を織る南の方の邸と都と恭

馮の像く平よして南神山山の上白雲山など天成裂くをうり比良

也又東へ吹山水晶嶽輝迦嶽春夏の色へ赤緑あて秋冬のま

黄白なるも最嚴なる風系なり禁は往來遐遠くして晝夜人稠た

ちもさくらと平門万戸軒を連農陌高軒棟と並居く系孫倉も

是少く過下然る小橋奢の勝なる唐人一軟といえる者小唐土の如く

甕と鑄陶を織小武將の居城小足ぬ階く層々疑らく大おや隣を

る境界あへんく加之諸國の大名我もくと冬候して珍宝宝物を

献しけるそのうを裁千万といふ際限更あつてさうりける大守といふ物ハ此
是七條より始る

秀吉法練令三條築城堡屬羽柴明察

上古穴居して野處をといふそれあらるに安土山あり百窓環戸

の大城ハ天物鬼神の靈力あり成統するたり此結構なりそれハ

關を又く小羽柴秀吉頼てより信長大膽の奉止のまくと上流

一五ノ節をも信房おけを寄宿し玉ひ世代を畏ふのまおしける

一、歌の二
明揚州の
着るなり
茶の園平
戸小集
夕々佳
子もこれ
おひきき
勢小集
安土山の
をせはれ
今三三
ク、信房
の付助

由急。これに屢しばしば諫め忠言をりて禍をとりとも。こゝまで用ゐるが
 一統をいつしやう一ひと人の既すで小こ失あひと過すかむ。河か大た切きの能よにすままま也や。他たにに三さん奉ほう
 止としまふこと。久くもも不安ふあんなり。此こ小こ倣なまくし洛らく中ちゆうにも一いつ城じやうをりて築つ置ぎ
 是こ河か上じやう洛らくままししとと機き會かいハハ當あた城じやう小こ入い御ごししとと然しかるるべべししとと成なり
 ままぬぬもも君きみの河か成じやう光こう盛せい人にんななままどどもも戰せん國こくの中ちゆうハハ他た邦ほうの困く者しや或あるハハ刺
 客かく神かみ刀とうの族しゆ源げんをを圖とふふとと吳ご越えつ一いつ時ときの虛うつろ小こ宗しゆうトト仇あひ正ただるる事ことも
 法あはささししとと六むりりトトがが一いつ大たい將しやうの戰せん國こく小こ臨りんままるる。八は方ほうをを敵てきととらら得え
 づづここ一いつ言ごん傳でんくく候こうるる代だい君きみ小こ河か心しん極ごくくくかかをを人にんをりりのの蠶さ虫ちゆう
 の像さうくくかかががささるるここととよよろろ一いつかからら杯はい遠とほくく上じやう洛らくままししくくままらら河か旗き
 本ほんのの名な士し達だつ妙みやくささもも願ねんむむをを只ただ信しん房ぼうの滾あ回まるる小こ河か寄き宿しゆくあるること

遭あひひつつるる古こ治ち小こ龍りゆう帝てい真ま服ふくををれればばをを漢かん師しの過ありりとと所ところ傳でん
 ぬぬままふふいいししくく大たい切きの時とき節せつ左さ小こ右う河か身みの河か小こ心しんをを一いつむむふふここをを簡かん要よう
 ぶぶれれ。武ぶ威いををりりのの城じやうとともも一いつ兵へいととももななままるる良りやう將しやうの智ち勇ゆうとといいふふ
 く候こうへへののそそまま六む明めい宗しゆうなるる敵てき小こ對たいひひ決けつ戦せんををすす時ときの事ことなるる獨ひとりハハ
 ここ多おほ爾ぜんのの考かうりり來きるるののふふ一いつ以もつてて多おほくく防ぼぐぐの河か神しん慮りよをを
 めめららしし玉たまへへとと只ただ願ねんふふ法ほふ練れんりり一いつそそままりり信しん長ちやう卿けいの河か了りょう簡かんハハ大
 勇ゆう不ふ敵てきをを専せんとと一いつむむしし。寺てら院いんの滾あ回まるるののととももおおががささむむ。後あと來き信しん宿
 ままししませせしし。方かた僅ひま秀しゆう吉きちがが強ちやう練れんふふ漸しんくく諾だく心しんわわせせららまますす。次つぎ遭
 上じやう洛らくをを機き會かいにに命いのちををああまますすむむ。宣のたまひひららふふをを秀しゆう右う大だい小こ喜き悅えつをを
 誠まこと忠ちゆうをを述のたまへへ。又また子こ春はるもも過すま。日ひ晦み日にちととなりりたるる日ひ。琵琶びば湖こをを渡
 して上じやう洛らくししむむ。二ふた系けい妙みやく覺かく寺てら小こ寄き宿しゆくままららくく。慶けい便べん二ふた條じやう殿てんの河か邸てい空

地と分りてありし。遠小坂堡に結構を置くと。所善精の義と所
目代する村井長門守に命ぜらる。秀右衛門村井小通下る。前廳後堂
等を義懸ふる。金銀成録め。珠玉と勝。外面ハ石礮塚柱と大
丈夫小結構して狭城小比とくせし。さよ。とうて。談合せし。とも君命
を紀由急不決し。然る小佐長五月五日。急小京都と所發あり。大坂
表へ所出馬ゆ。是ハ一昨五月二日。天王寺在處たり。織田の軍。石山勢
と合戦す。原田儀中も戦死せし。信長大怒らせし。池田小所出馬
ありけるあり。然るといとも本願寺勢。堅固小防戦す。山は。容易
攻拔がく。怒恚を收吞く。六月八日。徒く。所攻系所り。遠道信長石
山攻小鳥銃癩を負り。小麻れども暑中。小所保養。一。さる。一
と。聖日安土へ還所す。然る村井長門守ハ。善精の之夫と。さる。一。

惟任日向守光秀。末で。る。急。是。便。の。時。り。と。所。所。善。精。の
事。ふ。つ。た。秀。右。衛。門。の。内。意。と。門。諱。る。光。秀。これ。と。兼。所。羽。柴。の。内。意。も。理
み。ぢ。つ。つ。ま。亦。宜。く。繪。巻。成。調。整。君。へ。も。言。状。と。下。し。と。い。ふ。村。井。大
小。喜。悦。す。惟。任。と。伴。ひ。善。精。場。小。到。る。小。光。秀。之。夫。と。廻。ら。し。く。
本。丸。要。渡。の。結。構。と。繩。料。を。し。て。繪。巻。小。記。畫。その。一。枚。と。村。井。小。通
與。一。枚。を。り。く。光。秀。さ。ら。う。安。土。の。城。小。奉。候。ふ。件。此。題。と。言。状
せ。し。信。長。殆。所。感。あり。く。光。秀。が。献。げ。し。繪。圖。の。像。く。善。精。と。命
遣。さ。る。村。井。も。これ。小。安。達。して。一。羽。柴。小。告。知。せ。し。小。秀。右。衛。門。又。安
土。小。ま。あ。り。借。記。の。繪。圖。成。添。見。し。く。猶。も。不。足。此。所。あ。き。君。命。と
遂。く。京。都。小。到。る。村。井。小。喜。び。指。圖。して。その。結構。を。開。く。せ。し。り。
漸。く。夏。の。日。も。盡。く。秋。風。噪。く。中。元。の。日。安。土。へ。渡。伸。の。池。馬。あり。中

國毛利家より。枘州石山本願寺へ名糧運贈ありける。川口におい合
 戦あり。織田家の素兵員多く戦死せし。此聞えり。日も遠ざりて
 北國より。駒馬を寄せて。佐仲と。加刺大聖寺の城を。戸次右近。加刺此郷民
 一揆門と。志をく合戦を。く。戸次右近小勢を。く。兩三度まで勝利
 を得たり。然りと。くも加賀一揆。ま。く人員多勢と。く。僅の勢は
 日毎の軍。小人馬。寄。く交代小。く。長。く。軍城。く。く。け。く
 北の庄。く。使者と。他。く。柴田。く。加勢。求。め。け。く。不。勝。家。い。く。お。ひ。く。人。事
 によ。く。加勢。せ。て。依。く。件。の。趣。と。頻。小。安。去。へ。注。進。し。て。後。援。を。く。く
 急。る。る。急。信。長。諸。將。と。集。く。評。議。を。羽。柴。秀。右。進。出。預。く。織。前
 の。柴。田。刀。祿。戸。次。へ。加。勢。い。く。く。時。く。加。刺。を。斬。取。く。君。此。河。津。院。成
 象。を。お。り。右。近。一。個。小。防。戦。を。せ。軍。城。既。小。危。く。け。く。く。勝。家。後

援せらる。い。く。七。川。藩。鎮。の。身。を。り。く。眼。前。加。刺。境。に。津。波。大。聖
 寺。の。自。軍。に。難。危。と。救。え。ん。と。せ。て。河。津。旗。本。へ。援。を。を。祈。謂。を。く
 然。ど。も。今。斯。戸。次。方。より。危。急。と。告。る。う。く。く。難。と。加。刺。へ。下。向。せ。を。
 猶。柴。田。も。河。津。使。者。と。り。く。加。勢。の。事。代。命。所。ら。を。志。る。く。と。言。を
 小。信。長。実。は。も。と。思。召。され。難。と。く。加。勢。小。遣。を。と。と。命。も。待。を。未。座
 より。佐。久。間。盛。政。勝。家。の。進。を。出。掃。く。小。信。小。命。付。ら。を。賜。ら。く。伯。父。勝
 家。城。僅。僅。し。て。不。目。小。加。刺。の。一。揆。輩。を。塵。に。け。く。ま。つ。く。と。何。と。放。ら
 て。望。を。け。く。羽。柴。亮。承。と。う。ち。笑。ひ。能。く。を。望。を。り。よ。され。た。を。足。を
 被。地。小。趣。を。一。揆。の。誅。伐。要。を。望。を。君。小。評。容。あ。く。ま。か。く。と。解。補
 たり。小。右。大。將。河。津。兼。知。何。く。盛。政。小。下。向。せ。よ。と。命。喋。る。佐。久。間
 外。一。人。の。將。士。と。加。へ。遣。を。と。と。や。と。宣。ひ。たり。成。荒。前。守。密。小。言。状。を

けり。將士を副させ、及ぶを盛攻一個當向む。定勝家
 出馬して、玄蕃を接け、加州一揆、斬殺めんこと難うまじ。まつ
 上、故、敵前へ亂入の沙汰あること。おとめも、多に虚脱する處。所
 謂ハ先年、三、故、謙信、足利家より、關東の管領、職、小補せし
 久。北条と倒して、坂東と掌、小領人となりしこと。頻なれども、甲斐、此、信
 玄、大敵ある由、急、妄、小出陣せざる。信玄既に卒去せし。東國出
 馬の時を得。その美、懐、専、あ、ん、ふ、を、と、上、方、一、撃、登、之、こ、ま、ら
 此、思、慮、を、此、勝、家、あ、る、を、然、る、右、近、を、救、さ、る、懐、心、材、此、候、を、上
 松、彼、地、へ、亂、入、の、事、へ、虚、脱、あ、る、よ、一、揆、盛、攻、に、ま、ま、命、合、ら、る、職
 前、場、へ、備、固、成、作、置、加、州、の、急、と、救、ふ、處、を、命、ト、玉、不、依、久、言
 蕃、候、で、兼、知、法、を、ま、つ、ん、戸、次、右、近、へ、救、度、此、戦、功、と、褒、賞、せ、し、也。

依久、間、小、交、代、を、得、る、を、ま、ま、別、く、命、遣、え、され、時、返、し、あ、ま
 づ、と、初、め、け、る、を、任、長、卿、稍、其、意、依、悖、を、せ、む、而、時、に、玄、蕃
 と、唱、出、し、故、速、く、加、州、へ、下、向、し、勝、家、と、借、小、一、揆、と、預、め、よ、加、美、一、國、の
 地、小、於、く、大、真、那、ま、で、其、方、が、心、任、た、る、處、に、小、戸、次、小、代、を、激、お、せ
 よ、と、命、ら、る、を、玄、蕃、元、お、か、ひ、小、款、に、謹、で、御、奉、ま、り、し、直、地、小、加
 州、へ、下、向、し、勝、家、が、許、へ、冬、向、して、安、土、の、首、尾、を、門、禪、且、殺、害、の
 方、額、成、思、ふ、小、強、登、敵、中、ま、で、攻、取、と、も、御、符、あ、る、を、ま、ま、功
 戦、次、身、の、命、を、れ、バ、叔、父、甥、力、試、勤、一、ま、て、小、國、の、地、を、悉、く、斬、死
 登、死、小、と、相、殺、せ、し、早、く、加、州、へ、救、軍、一、極、威、を、振、ふ、烈、戦、一、け
 せ、六、數、月、を、経、さ、る、小、加、州、の、一、揆、洗、ふ、が、如、く、平、鎮、せ、し、久、先、受、元
 助、を、使者、と、し、加、州、平、均、の、由、成、取、大、將、是、と、威、收、め、り、て、宋、田、依

常陸虎統孫新正安藤守康勝藏御相集る時小秀者
所前小出是を難トて言状さる。夫戦國は時小一て北國をぐる大
軍にあつた。四方は秋後伏せざる小所旗本の空虚たる事誠小直し
つゝざる。當て見えたる事も小所多勢をりつゝ遠く北國
境へ遣され。後小く東國西國より襲来らる。これ防ぎ至
ふべしや。觀面長田勝頼長篠の死。雪がんとく。虚を窺ふの最中
あり。其時不意に内裏も。量りかたの。たに右小も所旗本を
丈夫夫小なりかうれ。何時にとも急めたる。是は征伐ありせらる。
所準備ありた。候加別と急小征伐なさん。のながりたる。却る
矢を招ふ似たり。既小依久間。前田。依く極。彼地に出陣法をまつま。一
撥の。あは阿容と。と犯さる。義も候す。只緩くと征伐は所之更

とす。すす。上枚礼入北風。用も多。六虚説小ゆるさへ。継令バ
實説小もい。せ。何量れ事。う。居。記。謙。信。い。ふ。勇。將。なり。と。五。日。十
日の防戦とせら。ま。さ。る。と。事。や。ある。然。ら。六。礼。坊。の。時。小。降。て。所。加
勢。あ。る。と。遅。く。あ。り。是。非。と。人。員。以。當。向。ら。る。と。か。が。め。に。は。
ら。つ。一。人。の。大。將。小。之。四。小。務。此。軍。勢。を。遣。つ。れ。と。然。る。と。と。憚
色。お。く。言。状。し。た。れ。ば。信。長。所。氣。急。し。ゆ。と。予。既。小。軍。令。を
拘。出。し。と。緒。勢。を。集。め。北。國。へ。向。さ。せ。ん。と。秋。さ。る。所。汝。一。人。を。拒
て。障。止。る。ハ。底。事。を。や。四。方。小。秋。後。め。る。事。ハ。予。預。て。ら。る。と。あ。り。と
ころ。必。哉。内。か。ら。び。東。國。西。國。を。區。に。分。機。して。氣。煩。不。更。小。也。
汝。存。び。言。状。致。さ。る。と。登。進。者。あ。る。と。も。つ。の。外。小。比。り。玉。へ。ハ。
秀。吉。果。録。く。言。登。と。詞。なく。歎。息。し。は。諸。將。と。信。小。紙。前。當。て

常陸虎統孫新正安藤守康勝藏御相集る時小秀者

一

不信の訴ふ
加勢を發す
秀吉不快の
胸を演る



後向も。這時柴田勝家ハ山の庄小ありたるが加勢ハ諸將下向と听
 まりて。城介へ出く待よ。かどなく。羽柴惟任。滝門候多勢と率して
 到着せし。勝家諸將に對面なり。遠路を勞らひ。區々小懇懇を以て
 接れり。中より羽柴秀吉ハ不快に体立て。何れも。日米柴田ハ不平
 をれども。遠道ハ加勢の事を由急外の諸將と同様小接れり。詞と
 演けるが。秀吉應もせざりし。柴田怒は堪へず。て筑前守。小向ひ
 小由急。足下ハ勝家が接れり。小言をさや。不禮を極と。外はを
 秀吉。听て詞と柔らけ。君忠言をり。門へ出陣。誠むまじ。君用
 めむ。手。吾益の信。促小加え。これ。来る。この快。つと。恨ら。く。ハ
 自身。誠思ふ。君を。懐ふ。輩を。頻々。歎息。させ。る。勝家。い。く
 憤怒。を。發。し。自身。を。かり。めて。君。成。かり。と。さ。ると。ハ。難。を。當。て。留。る。

ぞ。汝一人。大臣。小して。餘ハ。多。不忠。し。お。り。よ。う。や。吾益。ハ。信。促。小。加。え。れ
 て。來。り。し。ハ。我。を。離。る。の。一。言。諷。懐。なり。と。罵。り。け。し。ハ。秀。吉。右。と。り。も
 動搖。せ。ず。足。下。ハ。から。を。腫。り。申。ふ。亦。も。吾。掌。鞋。の。着。り。諷。諷。巧。言
 詞。と。せ。し。君。れ。ハ。天。下。に。あ。り。不。善。ら。ん。事。ハ。進。ま。く。行。ひ。抽。て。勅。め。ま。い。ら
 せ。凶。事。ハ。控。威。と。犯。し。て。も。争。ま。く。諫。め。て。ま。ま。つ。利。や。朋。輩。ハ。諸。勇。士
 也。巧。言。の。何。ん。と。さ。る。方。僅。乃。夫。が。忠。心。義。膽。利。の。赴。く。不。と。東。を。登。り。
 足。下。小。國。の。過。補。使。と。り。七。別。を。鎮。め。む。小。誠。小。在。を。が。ら。い。ま。じ。款
 從。此。遠。國。へ。礼。入。の。證。し。も。な。れ。小。許。加。勢。を。乞。ひ。小。さ。る。ハ。臣。た。り。の
 忠。心。と。足。下。ハ。織。田。家。右。老。の。長。居。北。國。の。藩。鎮。と。て。當。城。小。在。任
 せ。し。且。又。佐。久。間。右。衛。門。尉。惟。任。日。向。守。と。り。播。磨。守。守。の。方。小。在。任
 て。安。土。守。護。門。へ。惟。任。滝。門。肩。中。と。孫。と。乃。夫。が。家。近。江。小。あり。て。不

時の變事と防ふ不足あり。然るに遠近上牧謙信常國礼入の沙汰ありと云。頻小加勢を乞ふ由多。俺們下向志つるなり。何國小判つて捲らくとも。忠義小呂別へはるまどなきこと。惟任瀧川の友將か。稲葉氏家乃夫まき。大平當國小末にて。河旗本空虚となり。然る處に捕佐のほもなき。万一又時の變出來ら。誰うくもは防がん。津浦今主君此濟身ハ將軍に奪くせむハ以前と六等しかむ。河旗本此處をうんこと。久もぐも不可なりと。諫言りよせど。越前の新証頻なつとありて。ち護の輩此をたを厭をむ。下向志く命ぞれり。忠臣する輩の心して。なごの歎息せざるべき。是よりて。就まこと。眞實の理成舒けま。勝家も。理とハ听しやむ。秀吉我と侮りて。傍若無人のりや。條と心中の怒す。長く。猶も辱せむ。

と歎す。汝平日我をもく。如恨むの心め。由多小辨吉の行小信せく。我加勢の預ひを。妨ぐんと欲するなり。遠上ハ我戦死するまで一個も加勢ハ受るす。諸將おのく。江州へ帰す。玉へ。謂放つ惟任。瀧川指桑の門。面惑むること。限りなく。秀吉の詞も。常理なれども。米田誠捨人もいめ。なご。と。難方を知げ。宵む。中には。稲葉一徹。母老功なれ。ハ米田誠。誅め。羽柴が詞ハ。福ひなく。眞實心の。江と。此を。か。む。心。ふ。け。む。俺們君命を蒙りて。遠。遠地へ。來り。此。遠。來。に。一。軍。軍。君。の。御。答。よ。あ。つ。る。一。是。下。の。指。揮。小。隨。ふ。加。勢。な。り。も。越。中。へ。お。り。も。費。向。ま。へ。と。種。々。解。和。せ。ら。う。も。勝。家。決。して。秀。吉。の。加。勢。ハ。受。と。疑。争。し。た。れ。ハ。秀。吉。果。て。諸。將。小。向。ひ。然。ハ。乃。夫。の。近。江。へ。帰。す。主。君。と。ち。護。一。東。

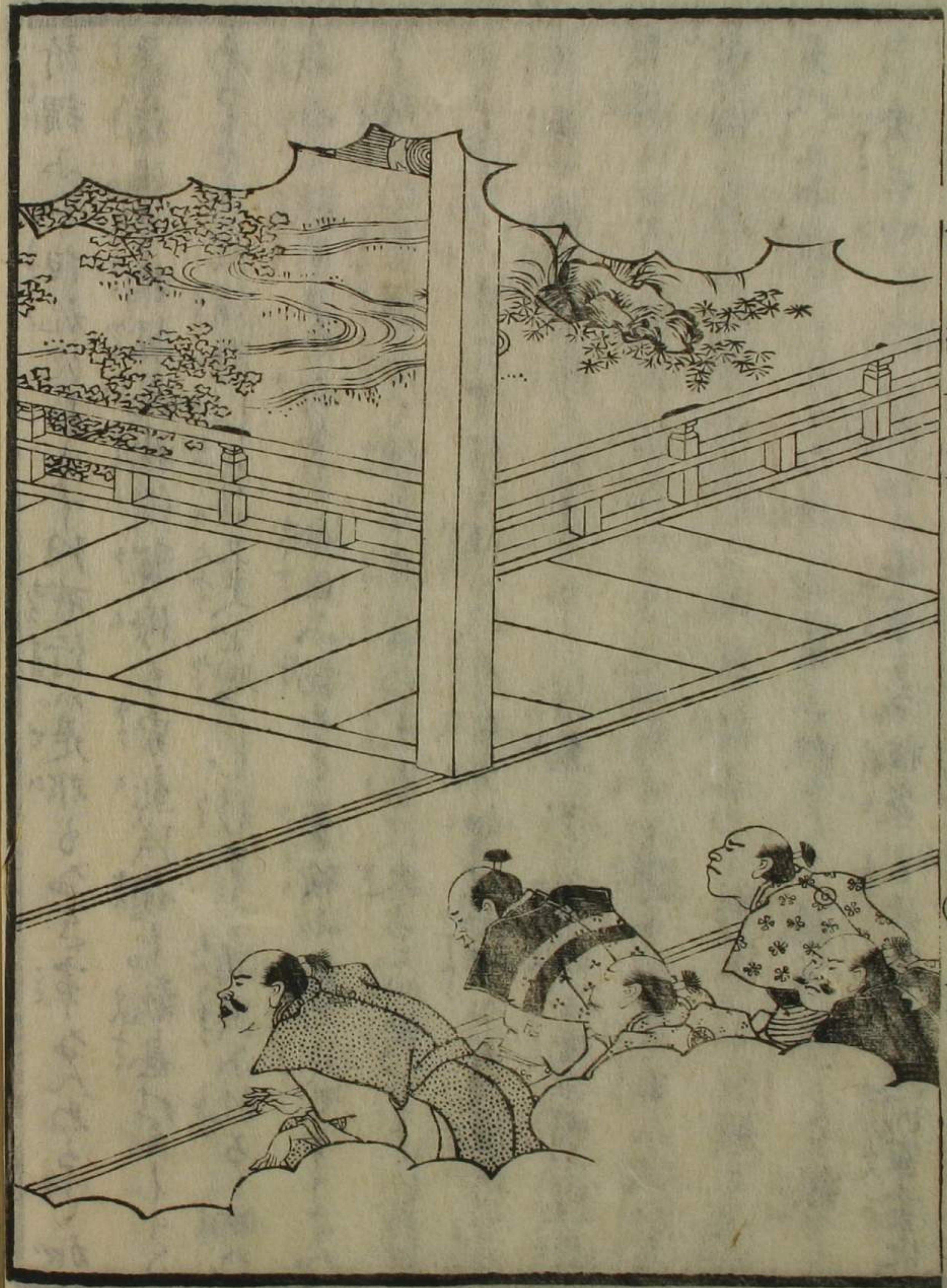
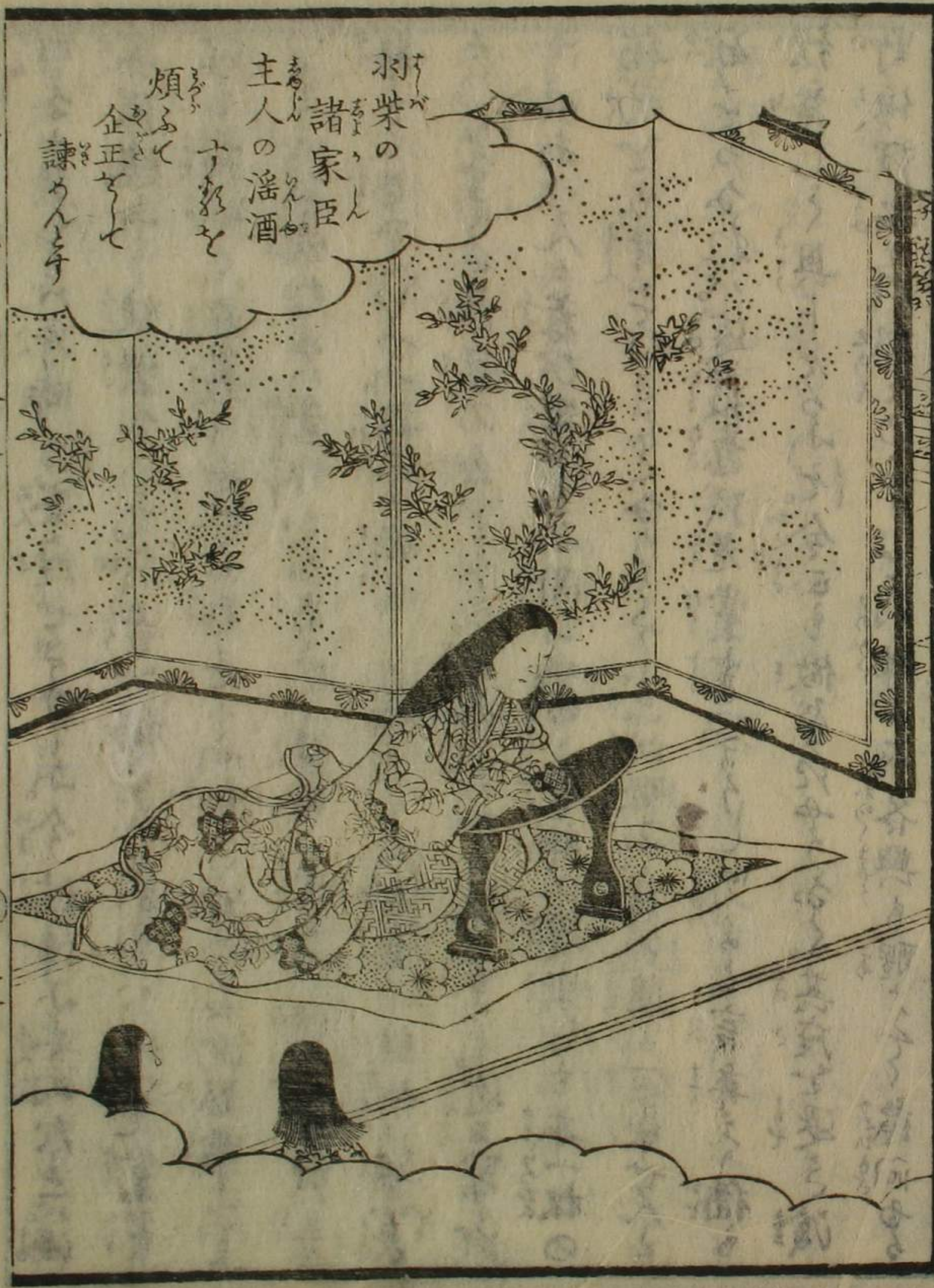
諸將の遠地小止りて。米田を助けまへ。命是忠義の爲
 なる。松の象論を益かり。と別様を告て自公成卒。早安
 去。降るまける。信長大に怒らせ玉ひ。早か指揮を奉むて
 我意を奉止。降る。信長に怒らせ玉ひ。早か指揮を奉むて
 不及を。出仕を用と敷園。ひく。叱て。申す。所を。出さ。居城
 難。つ。居る。と。命。出さ。諸士達の。勅解。ま。す。試。も。諾。受。む。と
 ぞ。声。を。放。く。怒。く。せ。あ。秀。吉。を。と。い。ま。じ。を。な。く。願。降。て。小
 谷。へ。降。り。門。戸。は。閉。く。藝。居。し。な。れ。日。來。所。來。し。熱。態。に。諸。士。の
 氣。の。毒。に。傳。ふ。お。り。ひ。信。長。總。慮。に。大。將。を。れ。い。ろ。る。所。由。治。め。る
 中。ん。と。手。小。汗。振。り。て。幸。配。し。る。皆。て。や。好。味。が。先。黨。妙。の。座
 以。飲。食。も。忘。る。る。り。寧。ろ。心。の。な。に。小。轉。多。秀。吉。の。何。れ。憂。苦

もろ。猿。樂。を。の。舞。師。を。集。め。酒。麩。成。儀。ふ。し。氣。舞。を。な。す。を
 畫。表。を。う。ろ。う。ま。遊。樂。し。て。行。状。す。ろ。も。慎。ま。る。思。の。隨。に。奉。止
 一。か。バ。淺。野。越。頭。實。権。尾。を。と。め。股。肱。に。個。々。擊。嘆。か。し。平。定。さ
 へ。總。慮。劉。氣。の。儀。回。殿。備。這。由。を。听。し。め。云。い。ろ。く。憤。怒。成。度。し。ま。ひ。
 いろ。ろ。る。智。料。の。あ。ろ。ん。も。知。さ。む。練。ま。せ。む。ん。バ。何。れ。と。こ。ろ。ま。人。お
 柴。ヶ。前。日。出。い。ろ。小。も。ら。れ。を。於。所。遊。興。ハ。放。逸。せ。り。小。見。請。ひ。い
 る。事。此。お。が。り。め。し。小。や。最。も。内。府。忠。言。を。遂。耳。せ。し。ま。こ。用。る
 玉。を。ま。じ。却。く。兩。門。を。命。む。る。條。不。仁。を。道。に。不。為。と。い。し。も。ま。君。に
 義。な。れ。バ。身。成。枉。く。所。切。解。願。ひ。め。ろ。を。糖。を。然。は。ろ。く。遊。興。意。樂
 に。耽。り。酒。宴。ふ。長。く。憚。り。を。於。所。君。成。恨。る。や。う。も。所。也。後。令。所
 勅。解。ハ。せ。し。ま。む。と。も。所。身。成。慎。ま。か。ろ。と。を。所。免。の。時。節。も

ある處にれ。数年辛勞し玉ひて。斯まき達する戦功に一時小室
 一く志をえんこと。日來此評。極意小相遠せり。頼六ハめく家一玉
 と。詞を怒へく誅むる小秀吉何氣をくち笑ひ厭ハ汝儂が意
 たぐり。吾位長小仕へく一日片時も安臥せむ。粉骨碎身
 此まし。従来年月送けしが。僕便遠遣の閉門ハ誓をまじ
 よき時なり。出仕登城の劬勞もなき。軍事謀畧小心も痛めむ。
 斯安閑と門戸閉く。藝后とて響をく杯ハ酒宴礼葬も僅
 ふく。汝等も意減痛めむ。酒飲謠ふく積勞を散せむ。
 と。呪然ふくち笑ひ。心休もなき見えたるふ。家臣老黨斬果噫
 其身一や主人ふハ天魔の魅るものか。人。羽柴殿とて織田家
 比長小。肩減甚なる案もなれ。大將の所とては。つるもの上。満れハ開る

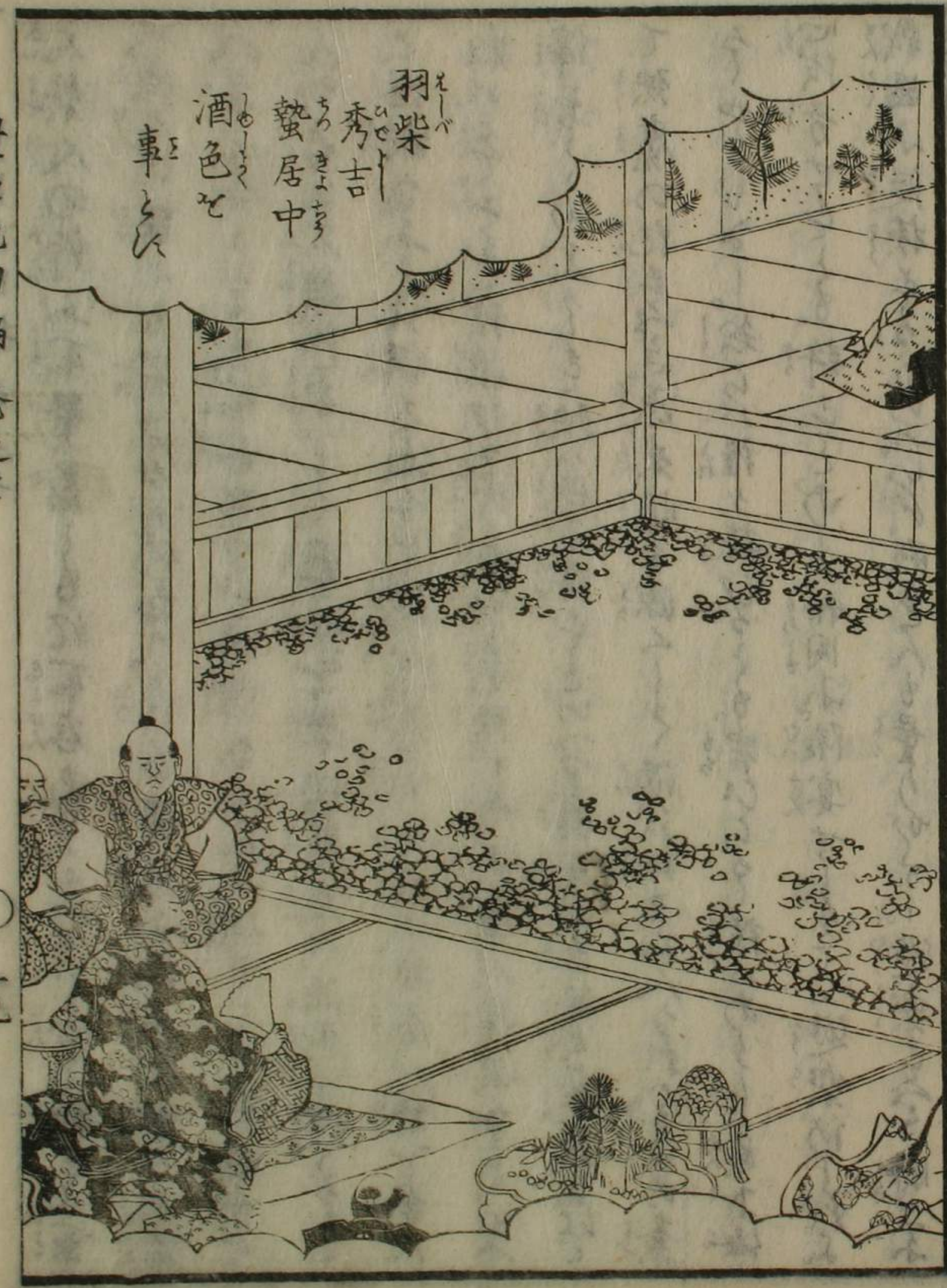
所謂小や。狂礼にむく。此所行ハ是非もなき事なぬ。加
 藤福鴻。片相。堀尾。蜂須賀。海も勇氣減損。歎息せし。く
 あ。て。ま。ま。は。淺野。深。谷。清。之。丈。を。廻。り。斯。ま。く。酒。興。小。乱。る。响。ハ
 我等が諫めも益を。今正小勅めく。柔順小。諫めさせま。う。ま。ん
 と。腰。心。の。案。譚。合。せ。傾。く。秀。吉。の。室。家。に。参。る。と。此。詞。を。ま。じ。あ。げ
 々。ま。を。阿。八。重。の。方。に。も。愕。り。れ。京。東。才。智。此。女。性。を。ま。じ。あ。げ。地。小。夫
 秀。吉。が。酒。宴。此。席。小。推。参。る。何。氣。を。く。機。驗。を。伺。ひ。借。小。座。具
 減。添。く。ま。く。要。時。遊。程。あ。る。て。後。近。士。を。選。け。け。秀。吉。小。係。ひ。老
 黨。海。が。歎。息。の。始。終。且。上。聞。讀。講。等。を。海。り。と。か。く。候。ま。し。新
 牙。此。こ。小。及。た。を。ま。ら。う。ち。海。改。心。め。さ。れ。う。と。詞。成。獨。り。く。諫。し
 久。秀。吉。所。く。斯。ハ。愚。め。る。最。事。う。る。極。家。主。從。數。年。此。間。軍。事。に

豊臣氏四編卷之六



豊臣氏四編卷之六

皇正己巳日



羽柴
秀吉
蟄居中
酒色を
事とす



皇正己巳日

大業人の行ふ不賢愚にも不存あり。まづ心小欲する事
 へ他人の諫めも容ざるものなり。秀吉遠然酒與に耽り。放逸
 此身とせらるるも。不存河をての律ありん小。何ぞこそ成練事せ
 んや。君の不興成象す。藝居を變便舞妓。酒意を催さるこ
 と。思材のふく稱をぬる。従令秀吉佐長の。徳慮れ怒を奉た
 ればとて。そま成恨むる秀吉あま。増てや天魔此障凝中。い
 律ありあま。てて。殃に使小勝とて。羽柴の徳を運成。か
 て。殃魔の犯さる。原來慎之源。く酒成好まぬ人なれば。本心の素
 る。中もみ。然らば。誰が練むるも。容ひら。該にあ。是下侮
 心成勞せども。許さ。あ。和同小。陪宴せ。遊樂河。れ。よ。
 戦國小。従。核。と。る。の。い。川。政。ま。ん。も。量。り。が。て。遊。樂。ま。と。時。不

あ。く。六。千。歳。と。補。入。樂。誤。さ。る。も。是。亦。大。丈。丈。此。不。行。か。ま。六。の。俾
 る。と。と。あ。と。安。達。と。と。京。と。成。所。と。淺。野。也。も。漸。と。主人の心成悟り
 然。と。と。あ。と。安。達。と。と。令。心。は。も。足。と。若。ま。る。を。借。小。の。と。寧。じ
 たり。响。小。大。坂。を。預。守。此。厭。守。する。天王寺。副。寨。の。守。將。松。永。保。正。久
 秀。倉。卒。に。謀。反。大。坂。境。成。引。退。さ。本。城。を。り。ける。大。和。の。國。志。貴
 山。小。對。藤。守。府。府。一。歌。對。此。色。を。顯。と。と。馳。る。と。り。く。遠。中。成。天。王。寺
 の。在。番。頭。頼。久。間。右。清。門。尉。信。盛。筒。井。頼。孝。傳。と。と。頼。小。安。ら。へ
 注。伸。か。し。征。伐。延。引。は。つ。ま。つ。と。大。事。小。の。と。所。一。め。こ
 れ。と。愕。然。と。ひ。頼。て。近。來。本。願。寺。成。征。伐。を。爲。さ。か。か。し。也。專
 たり。と。い。ふ。と。り。と。も。軍。勢。不。足。あ。ま。由。急。小。然。い。され。る。時。と。關
 ひ。松。永。謀。叛。と。鼓。合。は。る。こと。容。易。あ。ま。る。次。才。あ。ま。ま。り。て。也。智

勇兼備此老將領さうり本願寺に勅力のさこえあるふより
 て心解ざる野人なり。と蘭野のあさぞめりたりが。貴料らんやえ
 中も今叛とて一と思ふなり。速即小征伐せよと秋されど。
 旗本殆ど勢にして進退誠小難けき。如何とも為さるや。
 此小むく親く秀吉に謀めし辞的中せよとて始懐あり。而時
 小猪子之助を使者として小若の城を秀吉へ遣たされ尋ね
 ざる音ありふり。登く出仕しとて一と命せ遣れしを城にたれ

松永謀反志貴山城落亡属傳助愛死

周顔の密謀して腐腹せしめ。兵術の飲で権貴を誑る。是人の酒小
 惑ふなり。然る小羽柴流茶も秀吉。酒成りしと怨歎を惑をもて
 の大量の李白が一斗もいりせり及さん然れど小秀吉は日新酒具小

嗜むのとて。松永彈正謀反して。志貴山小聚ちしよし。泣傳ありと
 听えなれば。家人憐悧を。秀吉小斯と告たす。然は酒宴も是ま
 であり出仕の準備しとて。伴率狗の詞を命つけ。家人
 憐意落むとて。流く行儀を。安土の上使入来しければ。
 浅野派を清出逢へ。小丸へ請ひたり。秀吉衣服を華め出で。親
 意いふと奉所る。猪子兵助親意成傳へ。君に鞠回つ事ある。
 い川の如く出仕とて。命せり。舒れば秀吉懐く。兼伏し。膜
 拜してまつる。と尋ふるや。唇や上使小續いく。伴率俱し。直地小
 安土へ参上。小若より安土。信長早速所前へ。吸き。秀吉親日藝居
 ず。幸勞し。はま近來。はさぞう。衰へは。人とか。不され。容貌
 亦後め。些も屋せ。氣色なく。健然とて出仕しけ。信長

羽柴小向をせむし汝久しく厭藝く窮したると報知申す秀
 吉慎重所より。小長軍居はくま川をとも。別小過おさふ由急よ。若
 此河鉄恩成象るとも。要時の浮雲と存したるは。領く晴を
 玉人日代相候はくま川をとも。才心退屋はくま川をとも。却て数年
 の苦勞を散す。遊興をて十分小。銳氣成養ひ急急。今とい
 ろる別款とも。肩と存せよ。河心寧くれと流るる。信長不
 く感悦ましく。然ハ別事成論むら小及をて。今志貴山の松
 永弾正謀反をさく石山と。合解を。然る小大坂殿守の急士隊
 疎されば。征伐しがく。贖中國の小寺。別不候陣代の義を願ふ
 といとも。旗本の大将勢り多。いんとも。此方術を。汝
 不存もこれある。東一野も。今令せある。秀吉會て。言状を。

松永謀反一軍城をも。河原の事うらも。早く征軍を。きんさ
 登し。まじく向をせむし。及む。又河原本城虚し。むす。よ
 一。信忠御法大将とく。佐久間惟任。長尾倣。大坂を。諸士達
 一筒井順慶の一隊。成副ら。導教司とく。當向玉。易く
 征伐は。中川を。最も大坂を。是れ隊空虚。小相成。い。本願
 寺。を。發軍も。ある。西國の。サ。延。憂。さ。書
 よも。河。ま。河。松永成。征伐。は。河。指揮。あ。ま。不。サ
 濱れ。河。府。發。は。河。か。不。め。子。建。信。忠。成。大。將。と。て。羽。柴。が
 東。せ。人。と。河。成。の。事。を。令。ら。ま。たり。秀。右。領。く。東。は。河。角。が
 順。慶。の。法。師。な。れ。も。智。勇。の。家。長。教。多。あ。る。場。く。松。永。久。秀。と。は
 累。年。地。域。争。ふ。の。敵。小。と。武。道。功。奮。此。久。秀。と。大。和。一。國。小。双。立。

武威滅亡の名家なれば松永退治の先陣小八筒井ありて
 称ふまじと。言状しるる詞を信し。順慶をりく先陣松永属ら
 せ。筒井の主従大小收ひその准儀をぞおしたる。然れども石
 山本願寺の厭守とて。将軍秀吉を備小置れ。後田城之助信忠
 長尾之助大輔。惟任日向也。佐久間右衛門尉。筒井順慶。總勢二
 万有餘人。十月晦日の登天小和列序。邑の城に推進せ。二を云に
 攻起ける。此ハ松永が旗下海老宗。友清。藤玄。助正。友海。村野
 守とぞ。孫あり。進之。此總軍三方より。一時小攻。蒐るその中にも。長
 尾孫孝が子。与一。而。同頼。小永。兄弟。初戦る。兄ハ十五歳。曾ハ十
 四歳。小一。二人。援。群の。捲。一。番。敵の。名。何。も。その。や。惟。任
 日向也。比。類。之。に。委。ある。城。之。隨。分。防。と。い。い。ども。進。之。い。る。と。さ

小八筒井
 松永退治
 先陣は松永
 小八筒井

別々色。遂小詰。と。は。將。率。借。以。敵。死。さ。し。く。城。ハ。隔。け。り。と。城。之。助
 大小。收。ひ。同。く。十。六。日。松。永。が。居。城。志。貴。山。ハ。推。進。る。は。先。陣
 ハ。筒。井。順。慶。地。理。分。明。の。道。守。示。に。く。多。年。怨。飲。の。松。永。氏
 殊。さ。る。こ。の。路。さ。ふ。先。法。多。し。進。さ。る。惟。任。長。尾。佐。久。間。の
 諸。將。も。こ。こ。小。詰。く。極。進。く。喊。法。之。を。為。統。を。治。す。と。意。
 二日の隙息をも次せ。微塵ふされと。接起たる。山ハを襲
 此。要。崖。ふ。し。く。も。將。ハ。先。功。の。松。永。を。と。と。進。之。門。ハ。必
 死。と。免。期。決。し。し。る。選。之。擇。く。八。千。餘。人。牙。を。齧。む。防。戦
 し。け。ま。だ。進。之。の。多。く。擯。び。る。の。も。勿。く。落。城。は。氣。絶。さ。し。然
 る。小。松。永。彈。正。が。運。命。盡。ぬ。時。節。に。や。自。軍。の。諸。士。を。お。死。し
 集。め。當。城。堅。固。の。体。小。見。ゆ。れ。と。兵。糧。矢。銃。限。を。河。邊。一。本。立

小くハ備ふさう。万々密使成をしく大坂本願寺此門迄を信
 之。備亦中國の毛利に授け加勢を乞ふんと欲するあり。誰を
 遣使士小赴くむらや。と東に成听て侍ら。豊傳助好之進を
 出く使者を望む。遠傳助といえる者。筒井家の忠臣なり。一
 が。返問のため先奉より。松永に仕つ。忠義成を乞ふこと。既小
 十年小及びたる由急。今之秀も疑ふ。腹心の如くあり。此
 り。固く遠遭の密使をも。豊傳助小命とす。好之憤地ふられ
 成收ひ。身を盡す。此如く。お扮。小糸。城を潜り出。願寺
 筒井が陣小到。謀成を謀らる。順慶喜ぶこと。限るなく
 自勢。此うち。二百人の勇士。成撰て。石山勢小打。扮。暗号
 成定め。願寺。傳助。城中へ。歸り。本願寺より。加勢。成。今月

九月。此夜。成。山。城。を。用。道。より。城。中。へ。來。る。約。束。あり。と
 返。箱。等。をも。入。せ。る。ま。は。ば。彈。正。大。小。これ。成。收。び。加。勢。の。來。る。成。待
 たり。か。ど。あ。く。九。日。の。夕。ま。を。り。ぬ。傳。助。好。之。背。詰。より。筒。井。が
 勇士。二百。餘。人。成。志。貴。山。の。城。へ。導。示。し。た。れ。ば。松。永。父。子。是。成
 實。と。し。近。日。進。兵。を。返。掛。え。ん。飲。饒。を。乞。り。たり。筒。井。順
 慶。本。陣。小。到。了。大。將。信。忠。小。言。状。ま。さ。く。明。日。ま。で。小。志。貴。山
 の。城。へ。落。去。は。ら。ま。ら。る。成。の。ゆ。ひ。ど。漸。意。寧。く。か。が。し。め。と。一
 一。其。謀。計。ハ。那。般。と。傳。助。が。事。成。言。演。れ。ば。信。忠。大。小。威
 成。あ。つ。緒。士。一。由。遠。義。成。謀。され。たり。然。か。ど。に。豊。傳。助。ハ。其。衆
 二百。餘。人。小。命。と。て。城。中。へ。入。り。大。將。を。捕。ら。せ。成。一。同。小。爲。難
 肉。を。風。圖。を。用。さ。り。進。兵。一。地。小。籠。入。を。城。兵。これ。小。驚。怖。せ。

豊田譜四續卷之十

十四



志貴山の城陥るに
臨みて松永久秀
平蛛の茶釜を
打碎く

忠臣蔵 巻之七

十四

平藤の
家来の
親の
山崎の
敵を
討つ

右頼方側より、内外の筒井勢、猛威を奮ひ、一個も刺さざれば、投走と、西南八面へ斬り廻る。これがたあ、小戒の政也、或は落失、歎息する。城もあがりける。遂時、松永、弾正も、自害する。と、残兵、小命、ト、要時、隙防、矢をせり。そつり、天守、小崎、登、婦子、右清、門、佐、久、道、を、招き、吾、今、中、途、小、殺、を、取、る、も、是、金、信、長、の、不、為、あり。汝、も、身、代、全、ふ、く、虚、を、窺、ふ、く、信、長、を、切、く、一、お、刀、恨、む、べ、し。か、あ、く、は、憶、念、せ、よ、や、と、命、を、久、通、父、の、死、を、見、棄、く。離、散、さ、る、小、忍、び、さ、り、久、秀、種、と、理、哉、説、諭、し。頼、長、を、副、く、落、遣、猶、殘、念、ある、と、こ、を、阿、比、と、平、生、秘、藏、を、し、り、り、る。平、藤、とい、ふ、茶、金、あり、と、世、小、類、を、記、名、差、あり、が、日、來、信、長、遠、平、藤、哉、頼、小、忍、望、あり、つ、ま、と、も、曾、て、こ、を、信、贈、与、ひ、と、今、備、に、留、置、バ、

信長の身、小入も、や、さ、る、と、怨、小、類、を、脅、力、で、奪、取、し、微、塵、と、あ、し、く、碎、さ、し、ハ、偏、執、も、ま、さ、深、う、り、け、を、然、し、く、后、小、表、傳、助、が、愛、ん、で、一、夜、嘆、罵、り、と、の、れ、好、久、翌、日、汝、も、侍、を、つ、か、怨、罵、れ、行、と、後、や、さ、る、安、座、さ、を、な、り、と、憤、怒、れ、眼、赤、鬼、の、像、く、天、守、に、口、に、大、旗、放、ち、し、門、を、楯、の、中、へ、劔、を、う、り、え、く、跳、投、遂、小、空、し、く、燒、亡、し、り。時、小、天、正、四、年、十、月、十、日、久、秀、逝、年、六、十、八、歳、と、下、れ、戦、死、三、千、餘、人、志、貴、山、落、城、せ、り、大、將、信、忠、諸、將、皆、卒、し、同、十、二、日、凱、陣、あり、と、京、城、二、条、に、城、へ、漸、入、り、り、く、軍、の、事、を、始、終、缺、欠、あ、く、安、去、つ、言、状、あり、と、信、長、公、大、悦、せ、り、と、堀、久、を、部、秀、政、松、井、友、周、氏、所、使、者、と、し、二、條、の、城、へ、を、り、捷、軍、に、賞、旗、厚、ふ、せ、り、と、筒、井、順、慶、小、大、和、一、國、足、を、賜、り、け、を、



松永秀が
 靈魂森傳助を
 憤殺す



順慶が収び涯なく。早速安去へ冬候し。所禮まうし謝したる
 々。備亦表傳助好之。遠彼の功才一なりと。筒井家随一の家
 臣とあり。飽中七衣。食位小富菜。勢威壯なり。二年や。事
 ありて。自己が随意過し。然る天正六年の秋。涼て。草本
 裏へ。蟲の音耳小。あそれ。成候し。吹來る風も。寒くと。衣
 撤さ。涼ハ。氣猶多。武去も。勇氣折。折く。機化なり。傳助妻小
 侍女と伴て。菜漬。烹山。菓を嘗む。秋の夜。長れ。徒然と。信
 一。あつら。つら。秋も。團小なり。也。さて。干草に。聚く。虫の。顔も。吟
 倦ま。く。や。撲他と。休。それと。一時。小吹來。風の本の。葉。伴。引。て。頰と
 入。が。庭と。遮。る。涼。糖。紙。戸。上。戸。路。下。戸。路。成。島。地。小。離。走。侍。女
 穿の。肩。腰へ。飄。流。と。暴。落。流。と。り。り。と。女。婦。の。俤。れ。謀。を。く。も。

右様。友。逆。小。逃。惑。ふ。成。傳。助。妻。小。指。考。して。燈。火。消。さ。と。さ。る
 ら。せ。が。い。な。る。人。燈。甚。れ。紙。小。火。移。り。燃。起。り。熾。と。共
 小。呼。怪。し。や。烏。帽子。冠。する。白。髪。の。鬼。膝。蹴。と。り。現。ま。り。不
 敵。の。傳。助。床。に。重。る。太。刀。推。把。て。斬。んと。と。れ。と。五。體。さ。あ。が。り。傳
 せ。れ。る。像。く。み。く。些。も。動。く。こと。能。く。ん。噫。括。憾。中。と。叫。ゆ。白
 髪。鬼。を。脱。と。腫。こ。や。ま。六。三。奉。以。前。志。貴。山。小。て。亡。失。る。松。永。澤
 正。之。秀。を。り。傳。助。が。誓。捆。む。柱。起。る。成。斬。拂。と。ん。と。一。喝。呼。べ。傍。を。る
 侍。女。ら。ち。愕。さ。枕。下。に。倚。り。呼。覺。さ。不。愕。然。と。て。覺。醒。し。り。然。し。も
 猶。更。久。秀。が。怒。吳。眼。前。小。さ。り。ま。り。ま。り。その。懼。畏。し。た。こと。い。ふ。べ
 か。し。送。後。傳。助。表。明。され。も。脱。刀。み。く。き。行。き。狂。言。演。費。し。し。り
 休。さ。り。け。る。怒。る。愈。し。久。秀。が。自。害。を。し。たる。月。日。成。送。へ。び。之。年

周^{ちゆう}より忌^{いひ}日^ひある天^{てん}正^{せい}六年十月十日^{じつ}程^{ちやう}死^しふと殞^{げん}するなる

繪本豊后勲功記曰編卷之七終

